

# 木津川上流上野地区の治水対策案について

－建設費の修正－

平成16年12月20日

木津川上流河川事務所

治水対策案の建設費を、精査により修正致します。修正の内容は、p. 2 の表のとおりです。

これにより、これまで提出した一部の資料が修正となります。【p. 3 参照】

このうち、各治水対策案の投資効率、被害軽減効果を評価した第 10 回ダムWG (H16.12.5) 資料の修正は、p. 4、p. 5 のとおりです。

主な修正点は、放水路2(案)の建設費が約 120 億円減少したことです。

これに伴い、放水路2(案)の投資効率は向上しますが、上野遊水地掘削(案)、新設遊水地(案)、新設遊水地掘削(案)に比べると依然として低く、さらに、名張川において高山ダムの嵩上げ等が必要となることから、治水対策案として有効な案とは評価できません。

以上により、これまでの説明内容の主旨が変更になることはありません。

治水対策案のコスト(建設費)の主な修正内容

治水対策案	建設費(億円)		主な修正内容
	修正前	修正後	
新設遊水地(案)	789	786	・柘植川下流遊水地の越流堤・余水吐の数量の修正による減
新設遊水地掘削(案)	988	992	・柘植川下流遊水地の越流堤・余水吐の数量の修正による減 ・表土復旧工の施工単価の修正による増
水田活用(案)	3,894	3,893	・畦畔ブロックの施工単価の修正による減
休耕田活用(案)	354	351	・畦畔ブロックの施工単価の修正による減 ・用地買収数量の修正による減
その他の流域対策(案)	65	64	・重力式擁壁の施工単価の修正による減
放水路1(案)	1,041	1,073	・木津川護岸改修数量の修正による減 ・呑口エコンクリート数量の修正による増 ・トンネル覆エコンクリート単価の修正による増 ・仮設道路用地の借地費の追加による増 ・吐口エの仮設費の追加による増
放水路2(案)	740	622	・木津川護岸改修数量の修正による減 ・呑口エコンクリート数量の修正による増 ・トンネル覆エコンクリート単価の修正による増 ・トンネル工施工単価(土工・覆工)の修正による減 ・仮設道路用地の借地費の追加による増 ・吐口エの仮設費の追加による増

## 建設費修正に伴う提出済み資料の修正

会議名	資料No.	資料名	修正内容
第5回ダムWG (H16.9.23)	1-1	川上ダムの代替案について(調査検討の中間報告)	・治水対策案のコスト(建設費)
第7回ダムWG (H16.10.18)	1-1	木津川上流上野地区の治水対策案について	・治水対策案のコスト(建設費) ・費用対氾濫軽減量(10洪水合計氾濫軽減量/コスト(建設費)) ・費用対被害軽減額(10洪水合計被害軽減額/コスト(建設費)) なお、氾濫モデルの見直しに伴う氾濫量の修正については、第10回WG(H16.12.5)でお願いしているところです。
第9回ダムWG (H16.12.1)	3-7	木津川上流上野地区の治水対策案について ーダムを含む複合案等の治水効果ー	・治水対策案のコスト(建設費) ・費用対氾濫軽減量(10洪水合計氾濫軽減量/コスト(建設費)) ・費用対被害軽減額(10洪水合計被害軽減額/コスト(建設費)) なお、氾濫モデルの見直しに伴う氾濫量の修正については、第10回WG(H16.12.5)でお願いしているところです。
第10回ダムWG (H16.12.5)	第9回ダムWG資料 2-5の差し替え版	ダムの調査・検討について (川上ダム)	・治水対策案のコスト(建設費) ・費用対氾濫軽減量(10洪水合計氾濫軽減量/コスト(建設費)) ・費用対被害軽減額(10洪水合計被害軽減額/コスト(建設費))

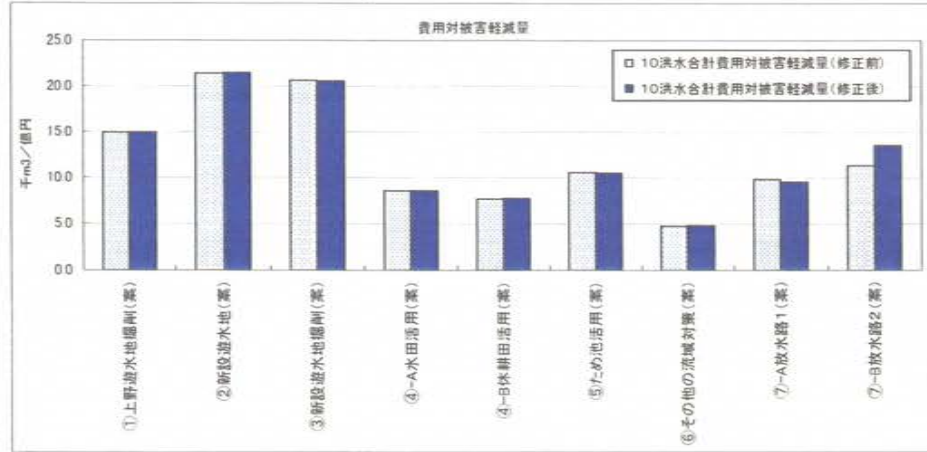
※第10回ダムWG(H16.12.5)「第9回ダムWG資料2-5差し替え版」p.7の修正

治水対策(案)の評価(比較)

費用対氾濫軽減量(10洪水合計氾濫軽減量/コスト(建設費))

(千m3/億円)

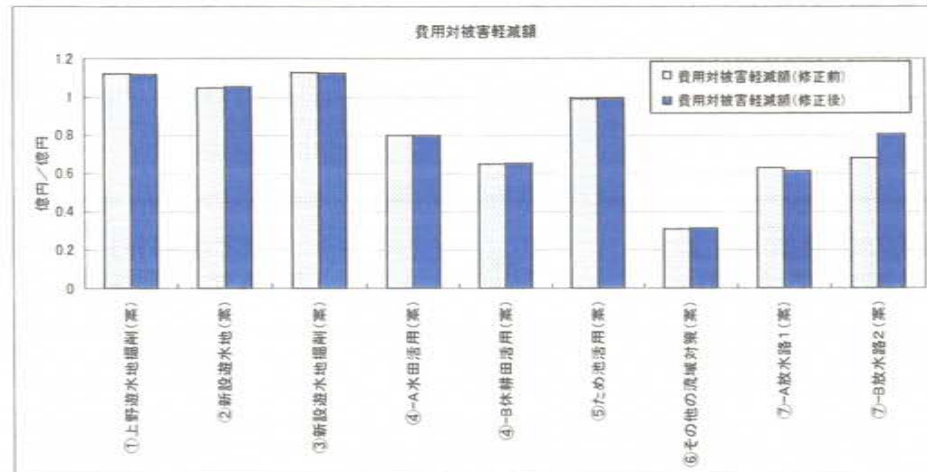
	①上野遊水地掘削(案)	②新設遊水地(案)	③新設遊水地掘削(案)	④-A水田活用(案)	④-B休耕田活用(案)	⑤ため池活用(案)	⑥その他の流域対策(案)	⑦-A放水路1(案)	⑦-B放水路2(案)
費用対氾濫軽減量(修正前)	14.97	21.39	20.66	8.55	7.65	10.52	4.71	9.81	11.32
費用対氾濫軽減量(修正後)	14.97	21.47	20.58	8.55	7.72	10.52	4.78	9.52	13.47



費用対被害軽減額(10洪水合計被害軽減額/コスト(建設費))

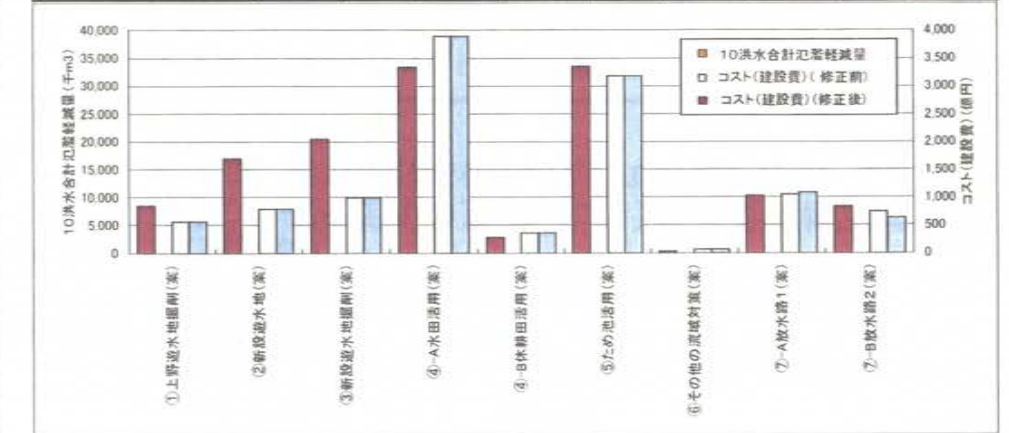
(億円/億円)

	①上野遊水地掘削(案)	②新設遊水地(案)	③新設遊水地掘削(案)	④-A水田活用(案)	④-B休耕田活用(案)	⑤ため池活用(案)	⑥その他の流域対策(案)	⑦-A放水路1(案)	⑦-B放水路2(案)
費用対被害軽減額(修正前)	1.12	1.05	1.13	0.80	0.65	0.99	0.31	0.63	0.68
費用対被害軽減額(修正後)	1.12	1.06	1.13	0.80	0.65	0.99	0.31	0.61	0.81



10洪水合計氾濫軽減量 (上段:千m3) (下段:億円)

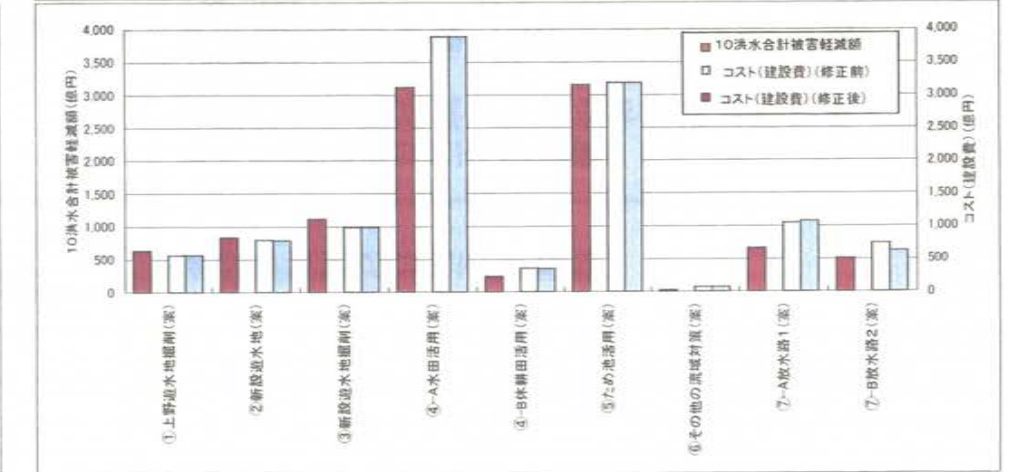
	①上野遊水地掘削(案)	②新設遊水地(案)	③新設遊水地掘削(案)	④-A水田活用(案)	④-B休耕田活用(案)	⑤ため池活用(案)	⑥その他の流域対策(案)	⑦-A放水路1(案)	⑦-B放水路2(案)
10洪水合計氾濫軽減量	8,445	16,875	20,417	33,303	2,708	33,459	306	10,216	8,377
コスト(建設費)(修正前)	564	789	988	3,894	354	3,181	65	1,041	740
コスト(建設費)(修正後)	564	788	992	3,893	351	3,181	64	1,072	622



10洪水合計被害軽減額

(億円)

	①上野遊水地掘削(案)	②新設遊水地(案)	③新設遊水地掘削(案)	④-A水田活用(案)	④-B休耕田活用(案)	⑤ため池活用(案)	⑥その他の流域対策(案)	⑦-A放水路1(案)	⑦-B放水路2(案)
10洪水合計被害軽減額	630	830	1,116	3,114	229	3,152	20	657	502
コスト(建設費)(修正前)	564	789	988	3,894	354	3,181	65	1,041	740
コスト(建設費)(修正後)	564	788	992	3,893	351	3,181	64	1,072	622



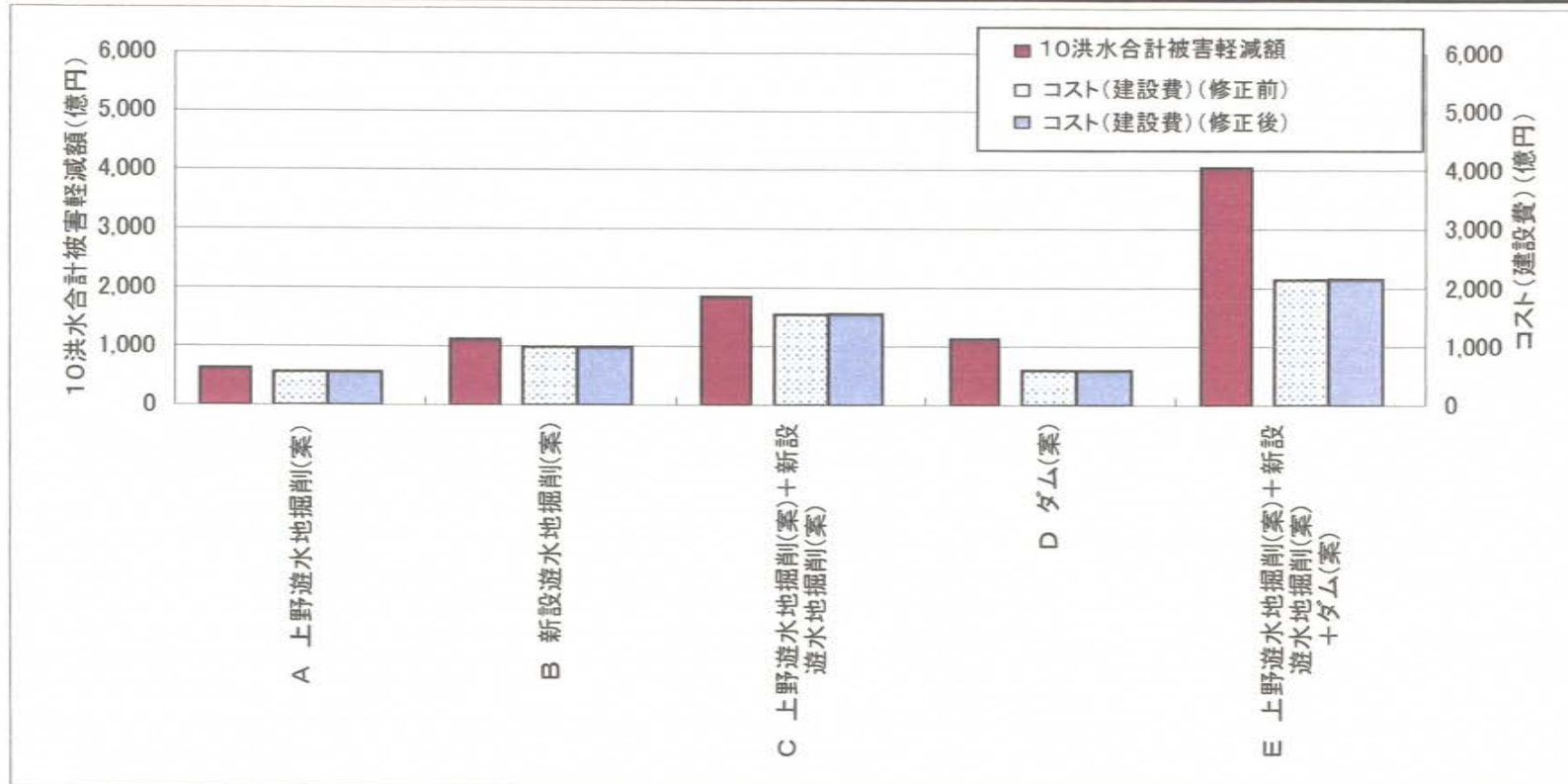
注) 治水対策案の建設費を精査により修正

※第10回ダムWG(H16.12.5)「第9回ダムWG資料2-5差し替え版」p.13の修正

10洪水合計被害軽減額

(億円)

	A 上野遊水地掘削(案)	B 新設遊水地掘削(案)	C 上野遊水地掘削(案)+新設遊水地掘削(案)	D ダム(案)	E 上野遊水地掘削(案)+新設遊水地掘削(案)+ダム(案)
10洪水合計被害軽減額	630	1,116	1,845	1,135	4,047
コスト(建設費)(修正前)	564	988	1,552	600	2,152
コスト(建設費)(修正後)	564	992	1,556	600	2,156



(注)治水対策案の建設費を精査により修正